



ベルギー ルーヴェンカトリック大学 人に恵まれた ルーヴェン留学

留学生活

一橋大学の派遣留学制度を利用して、2024年9月から2025年2月までベルギーのルーヴェンカトリック大学に留学しました。留学中は学業に加えてスペインの医療コンペやブリュッセルの食販のアルバイト、24時間マラソンなどを経験しました。

思わぬご縁



ルーベンの旧市庁舎【著者撮影】

留学中の印象深い思い出は、日本人の仲間とともに企画したお餅つきイベントです。現地の学生に日本の文化を楽しんでほしいと思い企画したこのイベントの経験から、思わぬご縁の重要性を学びました。私たちは正月に日本人学校の書初めイベントに参加をしたのですが、臼と杵はそこで出会った校長先生から貸していただきました。また広報やイベント準備に協力してくれた友人には、学生団体主催のイベントで出会いました。出会ったときはお餅つきイベントで協力してもらうなんて想像もしていなかったからこそ、偶然の出会いがもたらす、ご縁の重要性を実感しました。どんなことでもとりあえずやってみるという気持ちを持って積極的に行動に移すことで、予期しない出会いや成長につながるのだと思いました。

また寮では唯一のアジア人として生活する中で、欧州特有のカクテルパーティーやクリスマスイベントを行いました。みんなでホットワインを飲んだことやシークレットサンタと呼ばれるプレゼント交換をしたことは一生忘れない思い出です。

小さな寮だったため毎日誰かしらと会える環境が整っていて、会話を通じてアジアとの違いやヨーロッパ内の社会制度、文化の違いを肌感覚で学びました。優しく個性的なルームメイトと一緒に生活を送ることで、多様な考え方を尊重して、どんな相手に対しても真摯に向き合う大切さを改めて学びました。

ルーヴェンについて

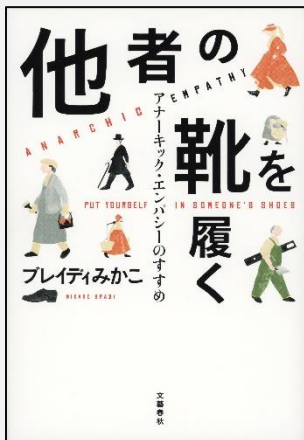
ベルギーはEU本部があることや他の欧州諸国へのアクセスのしやすさから、ヨーロッパを学びたい人にはおすすめの国です。特にルーヴェンは治安も良く、学生主催の色々なイベントや団体があるため、とても魅力的な留学先です。



寮のクリスマスパーティの様子

【著者撮影】

オ ス ス メ の 一 冊



他者の靴を履く ：アナーキック・エンパシーのすすめ

ブレイディみかこ著（文藝春秋、2021年）

【請求記号】3000:1752

イギリス在住のブレイディみかこさんが執筆された、共感と他者理解について学べる一冊です。多様な価値観に出会える留学生活において、多くの人と信頼関係を築くために大切なことを教えてください。

執 筆 者 紹 介

重岡 諒

社会学部・5年

所属団体：ランニング家族、ISDAK、TEDx、HEPSA、
山岳部

写真はルーヴェンの友達と作った特製ピザです！

